

地域志向型学生教育プロジェクト「ものづくり目利き人材教育プログラム」

プロジェクト代表者：李 濟民

1. プロジェクトの目的・概要

近年のビジネスの現場では文系・理系の括りでは解消できない様々な課題が山積しています。「ものづくり目利き塾」は、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業として、小樽商科大学と室蘭工業大学が共催し、8月と9月の計4日間にわたって、文理の学生が垣根を超えて共に学び、将来、北海道経済・世界経済で活躍する「理系の現場・技術を知る文系人材」「文系の知見・考え方で発想できる理系人材」の育成を目指す取り組みです。

2. プロジェクトの進捗状況について（～H29.10）

室蘭と小樽合計4日間で開催し、両大学あわせて18名の学生が参加し、学習を行いました。8月に開催された前半の2日間では、小樽商大生が室蘭工業大学ものづくり基盤センターを訪問、清水ゼミの学生らとともに、材料強度や鋳造といったものづくりの基礎と実習体験、企業見学(日本製鋼所 室蘭製作所)を行いました。

9月の後半2日間では、室蘭工大生が小樽商科大学を訪問、市原ゼミの学生とともに、ものづくり企業の企業評価、グループワークによる事例研究、企業見学(北海製罐、光合金製作所)を行いました。

【開催地：室蘭】

第1回	【1日目】8月9日(水)	【2日目】8月10日(木)
午前	9:30~9:45 開講式	9:00~11:30 実習(鋳造(鉄))
	9:45~10:00 安全講習	
	10:00~10:30 講義(ものづくりの歴史)	
	10:40~12:40 講義(材料強度)・実習(グループワーク) 製作	
休憩	12:40~13:40 昼休憩	11:30~12:00 まとめ
午後	13:40~14:40 講義(材料強度)・実習(グループワーク) 実験	12:00~13:00 昼休憩
	15:00~17:00 実習(鋳造(鉄))	13:00~16:00 工場見学 日本製鋼所室蘭製作所



【開催地：小樽】

第2回	【1日目】9月19日(火)	【2日目】9月20日(水)
午前	9:30~12:00 「ディスカッションと企業評価」講義(決算書の読み方・財務分析の基礎)・ケーススタディ・適切な情報開示の必要性・重要性について理解	9:00~13:30 事例研究(グループワーク)・技術分析と財務諸表分析・企業価値の評価・ディスカッション度の検証評価
	休憩	
午後	13:00~16:30 工場見学 ①北海製罐 ②光合金製作所	13:30~15:00 ディスカッション・質疑応答
		15:00~15:30 閉講式



北海道新聞による、小樽商科大学講義の報道

理系学生にビジネス感覚を
小樽商大で監 室工大生 決算書読む



3. 今後の取組予定について

両大学生への受講アンケートでも、講義で取り上げたテーマに対する興味・関心が高まったとの意見が多く、連携による学習効果は高かったと考えられます。この取り組みの効果を検証するには複数年で実施する必要があると考えています。

市原ゼミのWeb-Siteで情報発信をしていますのでご覧ください！

<http://cac-tus.wixsite.com/cactus>

